



なごむ 和

なごむ
No.412

1

2023年1月10日
大泉町公民館だより



なでしこ会



カモミール



デジサポ



カモミールの活動



クローバー

サークル紹介：36

お母さんの勉強会

はなみずき通り

お母さんの勉強会

私たちの会は「きょう一日明るく元気に」をモットーに、日々の家庭生活や人間関係をよりよくしていくようと勉強しています。

お母さんも女性として人として、自分を磨きレベルアップしていくことが大事です。家庭にも社会にも広く目を向け関心を寄せて共に学び合い、学んだら「実践」することを目指しています。

毎月のテーマは、夫婦や家族の人間関係、家事や健康情報など日々の生活を潤す話題が中心。ものづくりや施設見学、お花見などのお出かけも楽しんでいます。

現在は世代別で60代以上の「なでしこ会」、その下の世代の「カモミール」、二つのグループが活動しています。世代問わずどなたでも参加できるスマホの勉強会「デジサポ」も4月から始まりました。

このほか、小学生までのお子さんをお持ちのママさんたちを対象にしたグループ「クローバー」があり、こちらは邑楽町公民館で活動しています。

ぜひお気軽にご参加ください。

あなたの故郷（ふるさと）どこですか？

日本全国ふるさと発見!!

愛知県岡崎市②

《完》

◆故郷紹介

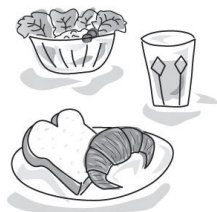
岡崎市は愛知県のほぼ中央に位置し、東側は明石山脈の西の端にあたり市域の60%以上が山間部です。西側は平野が広がり矢作川が流れています。その支流の乙川右岸に徳川家康公の生誕の城“岡崎城”があります。江戸時代は徳川家の譜代である本多家や水野家が治め、城下町として栄えてきました。人口は38万人の中核都市で、トヨタ及び系列の企業に勤める人達のベッドタウンとなっています。古くから石屋の町として知られていますが、国立自然科学研究所機構に属す分子科学研究所など科学研究の先端を担う施設もあります。

◆故郷自慢

モーニングサービス、昔はコーヒーを頼むとトーストとゆで卵だけだったけど、だんだんエスカレートし色々なものが付くようになったみたいです。

「筆啓上、火の用心、お仙泣かすな馬肥やせ」本多作左右衛門が陣中から家族に宛てた手紙。鬼作左は実家の町内の生まれです。

三河武士のことをもつと紹介したいところですが、今年の大河ドラマ「どうする家康」にお任せしましょう。



◆方言

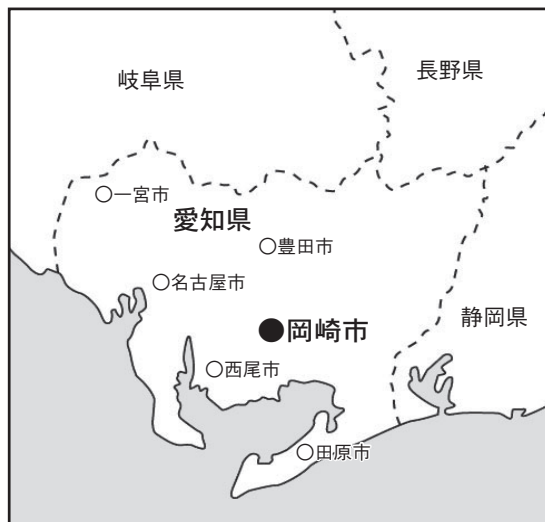
『じゃん・だら・りん』に代表される三河弁。何とかなんとかじゃんとか、何とかダラーは群馬のダンベと同じだと思います。やってみなさいは“やってみりん”になります。隅の方を“ぐるの方”何か持ち上げてもらう時は“さげて”と言います。思わずどっちと聞き返しそうです。

〈K・T〉

■岡崎市観光スポット

- 岡崎城
- 瀧山寺・瀧山東照宮
- 伊賀八幡宮
- 須佐之男神社・切越の夫婦ヒノキ
- 大樹寺
- 広忠寺
- くらがり溪谷
- 日近の里・かおれ溪谷
- 五万石ふじ
- 奥山田のしだれ桜
- 北山湿地
- おかざき世界子ども美術博物館
- 東公園
- 六ツ美歴史民俗資料室 悠紀の里

参考：愛知県岡崎市公式観光サイト



ぼくと書道



南小4年 山田 空吾

ぼくは七才から書道を習っています。書道を習い始めた時は、えん筆の持ち方や筆の持ち方が、自分が思っていた持ち方とちがい、先生に正しい持ち方を教えてもらいました。

夏休みの時の習字の宿題も書道教室でやっています。先生が「いいね」に一文ずつ教えてくれます。いつも書道教室でやっている漢字は、一年生や二年生のかんたんな漢字が多いけど、夏休みの宿題に出てくる漢字は今の学年の漢字が多いので、すぐおぼえられます。

書道は一週間に一回だけだけど毎回がんばっています。そして、毛筆の級は十級から二級になりました。こう筆の級は十級から一級になりました。毎回毎回練習してきたかきがありました。文字がきれいに書けると、自分の心が落ち着いてとても気持ちがいいです。

これから、今の自分よりももっとがんばって、もっともっと上手になりたいです。

すうとい話

暑い夏の間避けていたウォーキングを始めた。初冬の日、町で発行した「大泉町ウォーキングマップ」を片手に【華やかな功績・歴史】を辿るコースを歩いた。いつもは交通量の少ない場所を選んで歩いていたので、街中は車に気を付け、城之内公園をスタート。すぐに図書館の通りになる。昔はこの道をバスが確か前橋と館林間を走っていたことを思い出す。向こうから歩いてきた男性は中学の同級生で、お互いに「元氣」と挨拶を交わす。思いがけない人に出会えるのも町中散歩のいいところだなあ。

東小泉駅前通りから先は、ほとんど通ったことがない。線路を超え、畑中を歩くと田園地帯が広がる、こんなに広かったのかと感心した。

2時間ほど旧小泉地区を歩いてみたが、大泉かるたの「夜盗の墓」や「雷電神社」は全く知らなかった。多くの建物は様変わりしたけれど、神社やお寺は昔のままの姿を残している。

街中歩きは新しい発見があることを知った。「大泉町ウォーキングマップ」。皆さんも活用してはいかがでしょう。良いことがあるかもしれません。

(K・K)

第39回 公利連サークルフェスティバル

日時：2月18日(土)・19日(日)

会場：洋泉興業大泉町文化むら

【作品展示】入場無料

書研同好会・華泉書道会・

大泉きりえサークル・

大泉デッサンサークル

・展示ホール棟、大ホール棟展示コーナー

18日(土) 午前10時～午後5時

19日(日) 午前10時～午後4時

【コンサート】入場無料

※整理券が必要です。

出演サークル：8サークル

・大ホール(全席自由)

19日(日) 午後1時開演

(午後0時30分開場)

共催：大泉町公民館

大泉町公民館利用サークル連絡協議会

※お問い合わせ等くわしくは

※19日(日)は手づくりお菓子の販売があります。

町公民館 ☎(62) 2330まで

新刊図書のお知らせ



●13歳からの地政学

カイズクとの地球儀航

●差別はたいいてい悪意のない人がする

…見えない排除に気づくための10章

●100万回死んだねこ

覚え違いタイトル集

●自意識とコメディの日々

●アイデアとかデザインとか

図書室お勧めの一冊

「もうじきたべられるぼく」

はせがわゆうじ 作

「ぼくはうしだから」

もうじきたべられる」

運命を受け入れたぼくが

向かった先は・・・

そしてぼくが下した決断は・・・

絵本ならではの可愛く

やさしいタッチ

クスツと笑える言葉使い

涙する文章

映画のワンシーンを想像する場面

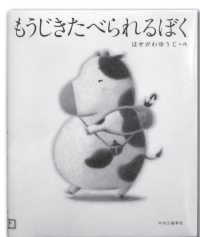
最後のうしのつぶやきに

心がうたれます。

「いただきます」

ぜひ、一度手に取ってみてください。

い。やさしい気持ちになります。



趣味講座

「陶芸講座」

- ・粘土から成形（ボディ作り）までの講座です。
- ※焼成は講師の陶芸協議会のみなさんが行います。
- ・平皿を作ります。（ロクロは使用しません。）

日 時：令和5年2月8日（水）

午前10時～午後1時

会 場：大泉町公民館 陶芸室

講 師：大泉町公民館陶芸協議会のみなさん

定 員：10人（先着順）

受講料：無料（ただし、材料費が1人500円かかります。）

持ち物：筆記用具・木綿の手ぬぐい2枚（汚れてもいいもの）

スチレン容器（肉や魚が入っていた容器を洗って

持参してください。）

【申込期間】

方 法：令和5年1月16日（月）から

令和5年1月31日（火）まで

に町公民館へ直接、材料費を添えてお申し込みください。

※2月1日（水）以降のキャンセルはできません。

■ 参加される方へ

- ・新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、中止となる場合があります。

お問い合わせ等詳しくは大泉町公民館 ☎62-2330まで

年頭雑感

あけまして
おめでとうございます



今年2月には、公利連発足40年を迎える。コーラス・ポピーも同じく40年。記念コンサートに向けてがんばっている。今年も元気で楽しく歌い続けたい。
心にひびく音楽をお届けしたいと、ただ精進あるのみ。

（和）

秋のバラが終わると、この時期のバラの剪定に入る。ところが特別な手入れなどしないで自然体で楽しんでいただけなのに、春が来たかのようにバラの花が咲いている。バラの好む環境とは・・・
つい考えてしまった。

（艶）

飛躍や向上の象徴とも言われる「うさぎ」

昔から幸運を呼び耳が長いことから福を集め情報を早く掴む卯年そんな卯年にあやかり楽しく良いものを紙面で伝えていきたい。今年もよろしくお願ひします。

（ひ）

最近高齢者による悲惨な交通事故が多い。前期高齢者の小生もまだだと思っているが、免許の返納時期が頭をよぎる。
ハンドルを握ったなら慢心せず、事故を起こさぬよう気を引き締めて運転を心がけたい。

（卓）

生まれて以来、60回以上のお正月を迎えた。
遠い昔の子供の頃、お正月に願

い、そして希望したことは、眼に見えるものが欲しいという物欲だった。中年を超え家族を持ち還暦を過ぎると実際欲しいものは「健康」

「安泰」「安心」そして「平和」と言った眼に見えないものになった。若い頃には見えないものが分かる年頃になったんだと思う。今年がどんな1年になるのか楽しみである。

2023年。あけましておめでとうございます。

（章）

「人生七転八起」

とは言うものの、人生後半の昨今うっかり転ぶことが多くなった。転んでも立ち上がった良し。頭だけは打ちませんように・・・

（京）

私の昨年を漢字一文字にすると、「帰」でしようか。二十数年単身赴任だった夫が帰って来た。各々生活リズムが確立しているの、今後のお互いの歩み寄りが必要な。

（政）

今年が良い年に・・・と毎年思うが、ガソリンをはじめ普段の生活必需品も高騰し続け、厳しさが増すばかり。それもこれもアレのせいとは考えないが、正月から良い話題が書けないのが今の時代なのか・・・
心にゆとりのある年になってほしい。

（浩）

六十五回目の初春を迎えるにあたり、一筆啓上。

暮れ泥む人生には、最早幼い頃の歓喜はなく、湧き上がる高まりは望むべくもない。けれども僕なりの希望はゆらゆらとしたカタチとなつて胸の奥底に漂いながら浮遊している。人はそれを徘徊と呼ぶのだろうか。

（好）

本年も「和」をよろしくお願ひいたします。

編集委員一同